

平成30年度 第4回未来ビジョン会議 要点記録

- 1 開催日時 平成30年7月23日（月）午後7時から午後8時30分
- 2 開催場所 伊東市役所8階大会議室
- 3 出席者 伊東市未来ビジョン会議委員16人（欠席2人）
市長、副市長、教育長、市長戦略監、企画部長、教育部長、生涯学習課課長補佐、事務局（行政経営課長、行政経営課課長補佐、行政経営課主事）
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 市長挨拶
 - (3) 進行説明
 - (4) 発表
 - (5) 次回について
 - (6) 閉会
- 5 会議概要
 - (1) 開会
行政経営課長から開会
（欠席者報告）
 - (2) 市長挨拶
皆さんこんばんは。本日は日本史上最高気温が観測され、伊東市内も35度ぐらいあったのではないかと思います、体調管理に十分注意していただきたいと
思います。
このような天候の中、お集まりいただき誠にありがとうございます。
未来ビジョン会議も今年度第4回目となり、前回、前々回とグループワーキングにより伊東市に必要な図書館・文化ホール建設についてご提案をいただくための協議を行っていただきました。
この図書館・文化ホール建設基本構想の策定は私の公約事業でもあり、伊東市の未来に大きく関わり市民の皆様からも関心が寄せられる施策の一つでございます。
この未来ビジョン会議での皆様のご意見は、政策アイディアの宝箱でございます。本日もどのような宝物と出会えるかとてもワクワクしております。
ぜひ、前例や固定観念に捉われることなく皆様の提案を発表していただきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

(3) 進行説明

行政経営課長から説明

(発表内容の整理)

(4) 発表

ア Aグループ発表

Aグループのコンセプトは、伊豆半島全体の利用者に向けた大型複合施設としました。

選定場所は、アピタ交差点南側としました。前回いただいた資料の中で思ったよりも土地の取得費などが他の土地で掛かりそうなので、造成費用が掛かってもそこまで他の土地と差がないのかなと、また市有地でもありますし使われてない市有地の有効活用と広い敷地を確保できるという点、また人口が集中しており市内利用者の交通の便が良いということでこの土地を選びました。

選定理由は、設計の自由度が高く、市内の中心部に当たり南部からの距離が短く、市民が集まりやすいと考えます。

懸念事項は、交通渋滞です。国道に直接繋がっていませんので入り口の道路が狭いと思いますが、複数の駐車場の出入り口を作ることによってカバーしようと思っております。

川奈駅が最寄り駅になると思いますが、歩くには若干距離があると思いますので、東海バスさんなどの協力をいただきまして、バスの路線を考えていただいて対応してもらおうと思っております。

またイベント等の際はシャトルバス、企業の研修会などはチャーターバスなどを利用し移動してもらいます。

メインとなる文化ホールですが、可動式で小さいホールと平らなコンベンションホールなどと複数利用可能にすることで稼働率を上げていく構想です。

また観光会館で問題になっています音響関係は、コンサート等で使えるものを入れたいと思っております。

生涯学習施設は主に運動をする方に重点をおき、運動ができる屋内施設、温水プール、あと子供の遊び場が不足しているという話もあったので市中心部ではありますが大きな公園も併設されると良いと思います。

グループの案ですと複合施設になりまして、市内市外の方も利用しやすく、学生の学習場所が不足しているため学習に利用できるブースの数を多数用意したいと思っております。

観光客にも利用していただくために提携したホテル等への貸し出しも考え、利用率を上げていけたらと思っております。

雑誌など、カフェテリアに持ち込み、飲食をしながらゆっくり過ごして読書をしてもらえる場所がほしいと思います。

また伊東らしさを出すため温泉は欠かせないと思いますが、普通の温泉施設は厳しいと思いますので、マリンタウンのように足湯スペースなど用意ができれば良いと思っております。

あとレストランを併設するということが漁協直営となっておりますが、市内のお店が複数出店できれば良いと思っております。

最後に自然と一体化した外観を考えておまして、グループで出た案としては、ここら辺の地域で有名なクロモジを施設の空いているスペースに植えてアロマの機能や森林浴に利用できればなどと思っております。ご清聴ありがとうございました。

(市長)

ありがとうございました。

それでは意見を交えながら質疑を進めていきます。

市民の皆様からご意見いただいているものが相当網羅されています。

極端に言えば体育館があればもう完璧かなと思います。

場所としても、敷地面積があるということで、複合施設としたらここしかないのかなと思います。まだ単体の施設になる可能性もありますので、その場合にどのようにしていくかということも今後検討したいと思います。

それから地産地消として、漁協直営のレストランや他にも複数声をかければということでありましたが、様々なところが声を上げてくださると思います。

農産物等もあると思いますが、何か他にイメージしているものはありますか。

(Aグループ)

まだしっかりと考えてはいませんが、伊豆高原の方に工房をやられている方がいますので、そういった方々にも声をかけて工芸品も用意できれば良いのではないかと考えます。

(市長)

ありがとうございました。

(若山副市長)

私たち行政の立場のものが考えると、どうしても造成費が気になってしまうためなかなか候補地に選ばない場所ですが、そうは言っても確かに市の南部からも北部からも集まりやすいということは間違いない場所でしょうし、逆に木が生い茂っている地形をうまく活かせれば、自然の中の文化施設みたいなイメージができるのかなというのは少し感じました。

改めて複合施設を建設するという条件にも適していますし面白い施設ができる可能性があるのかなというのを感じたところです。

しかし課題としてあげられているように、複合施設を建設した際の交通渋滞は入り口を複数箇所作ったとしても、国道135号線自体なかなか4車線化が進まない中で時間帯によっては慢性的に渋滞をしているということがありますし、アピタのところも結構車が集まってしまう状況もありますので、なかなか入り口を複数作り分散するだけで果たしてうまく渋滞が解消できるのかな、というのは感じておりますが、そこら辺はいかがでしょうか。

(Aグループ)

バスの増発など公共交通機関でカバーするしかないと思います。

(佐野副市長)

非常に面白いなと思ったところが、アピタという伊豆半島でも大きな商業施設の近隣ということで複合施設と相乗効果が出るのかなと感じましたが、その辺の検討はされたのでしょうか。

(Aグループ)

多少影響はあるかと思いますが、施設ができればシャワー効果でアピタの利用者も増えると思います。最近空き店舗もありますので、そういった点においても市内経済の活性化に繋がれば良いなと思います。

(佐野副市長)

それから観光客もインターネットで予約しホテル等で本の貸出し、返却することが可能というところが非常に観光地として面白い提案かなと思いました。

しかしどうしても行政の職員ですと若山副市長も申しましたとおり、費用の部分が非常に気になるところなんです、試算は概算でも構いません。試算していただきましたら教えてください。

(Aグループ)

試算はしていませんが、やはり貸出しの部分で紛失盗難等が考えられることから、ある程度レンタル可能な宿泊施設を絞り、またそちらから寄付をいただければ良いかなと思います。

(佐野副市長)

質問の仕方が悪く申し訳ありません。全体的な施設の試算をしていれば教えてください。

(Aグループ)

試算はしておりません。

(佐野副市長)

ありがとうございました。

(教育長)

図書館に限定した話をさせていただきます。リラックスした雰囲気、それから学生が勉強しやすい広い学習室、この辺は非常にありがたいと思います。

その中で例えば寒い季節に子ども達が足湯に浸かりながら学習をして学力UPなど、またクロモジによるアロマの作用が、もしかしたら学習能力が高くなるとか、まだ少しわかりませんがそういうリラックスした中で勉強が進んだり、本を読むことができれば他の地区ではそのような施設はないと思いますので、伊豆半島に一つしかない、また静岡県でもあまりない施設ということで非常に発展性のある発表であると感じました。ありがとうございました。

(市長戦略監)

私も教育長と同じ考えで、伊東らしい施設は非常に大事だと思っています。

その中に伊東の文化や歴史が学べるコーナーや伊東市民だけでなく市外から来た観光客の皆様にもご利用いただき、例えば伊東祐親についてなどを学べるようなものも一緒に作る事ができれば良いと感じています。

足湯に浸かりながら学習が出来るなど、非常に伊東らしさがある他にはない施設だと思います。

またあえて私は市職員としてではなく事業費にこだわらないで考えるとすると、例えばクロモジとか伊豆の木材を使用して隈研吾さんに設計してもらい、日本に一つしかない素晴らしい施設ができれば良いなと思っています。

もし仮にそうなった場合にはこのようなアイデアは採用しやすいと思いますので参考になりました。ありがとうございます。

(企画部長)

最後となると新しい話ができなくて申し訳ないのですが、複合施設ということで一番広い敷地のメリットを生かす意味で、子どもが遊べる場所もほしいということはタウンミーティングにおいても同じ意見がございますので、非常に市民からのニーズが高いということを感じています。このため、このような広いスペースを活かす施設は非常に良いのかなと思っています。

また交通渋滞について私は若山副市長と逆でして、このような交通渋滞が発生するだろうというデメリットに対して、駐車場の入り口を複数作ることが、できる限りの現実的な対応であると思っております。

最近のショッピングモールなどにも、複数の出入り口を設けて渋滞が外に行かないようにしておりますので、この提案においても同じような手立てを行っているところが面白いなと感じました。

最後にクロモジについては建築資材としては難しいかもしれませんが、市内のNPO法人も商品化に向けて現実的な検討がなされているということで、間違いなく将来クロモジのアロマというのは伊東の名産品としてなり得るところまできているということを伺っておりますので、教育長が言ったようにリラックス効果もあるということです。このクロモジのアロマが漂う図書館ということで非常に良い提案であると思えます。

(Aグループ)

伝わりきれなかった部分の補足をしたいと思います。

私たちの複合施設が一番の売りは可動式のホールを作りたいということですが、その理由としてこのひな壇型の観光会館のような椅子の設置ではなく稼働式にすることによって仕様用途が広がるということで見本市や学会の発表ですとか、椅子を全て片付けた場合には屋内スポーツの用途としても利用できるように利用頻度の高い施設を作ることで、平日の稼働率を上げ、また企業や団体の利用率を上げて宿泊客を増加することにより中心地ですので伊東駅前のエリア、伊豆高原のエリアと分散して宿泊することができ、導線を作ることも可能ではないかということで可動式を選ばせていただきました。

それから費用の面ですが、造成費は掛かりますが敷地が広いので高さがいらず、平屋建て等のフラットな設計をすれば費用は抑えられるのではないかと思います。

(市長)

ありがとうございます。

Bグループの皆さんお願いします。

イ Bグループ発表

私たちが提案するのは〇〇発未来ビジョン施設です。

〇〇のところには伊豆であったり、静岡であったり全国は少し難しいかもしれないですが好きな言葉を入れてください。

この施設を作る目標は伊東市民の豊かな暮らしの実現にあります。

まずは建設場所ですけれども、文化ホールは伊東駅の裏を考慮しておりまして具体的な場所は決まっているわけではなくて他の民間の土地を買収したりだとかでも良いと思います。

次に図書館はマンダリンホテル跡地を考慮しております。

文化ホールは交通アクセスを重視しておりまして、この後説明しますが市外からの集客も見込めるような施設にしたいので、あえて駅の近くにしました。

図書館については主に市民の利用を目的としておりまして、近くに健康福祉センターもあり相互利用もできるようマンダリンホテル跡地を選びました。

それぞれ文化ホール、図書館の単体施設となっております。

次に設備・機能です。文化ホールは大ホールが1, 500人から2, 000人の収容を考えています。人数を提示されても分かりにくいかと思っておりますので、静岡県内の施設と比較すると静岡市民文化会館は2, 000人、三島の市民文化会館は1, 200人を収容できます。三島の市民文化会館よりも少し大きいです。

小ホールは300人から500人の収容を考慮しております。

基本設備ですが、楽屋、リハ室、会議室など文化ホールには欠かせない設備はもちろん必要だと思います。

フリースペースになりますが、展示会や民間の利用もできるような場所にしていきたいと思っております。

次にレストランです。観光会館には食事をする場所がありませんが、大ホールや小ホールがかなり人数を収容できる場所になっておりますので食事ができる場所を提供したいと思っておりました。

最後に高音質の音響設備ですが、イベントに応じて調節できるようなものが良いと思っております。例えば合唱ですと声が響くように反響板等を使います。逆に吹奏楽等ですと響きすぎると音が重なってしまい聞き取りにくいので適宜調整できるものが良いと思っております。

次に図書館です。図書館は通常の図書館機能、学習スペースは今よりも広さがあつたほうが良いと思っています。

カフェ、イートスペースになります。カフェは皆さんが使用できるお洒落なカフェがいいと思っています。イートスペースは学生さんがコンビニエンスストアで買ってきた物を食べるような場所にしていきたいと思っています。

次にジム、電子図書館、温泉プールになります。温泉プールは温泉利用型健康増進施設の認定を受けられる施設が良いと思っておりまして、こちらができれば静岡初となります。

後はカルチャースクールで託児施設付きが良いと思っています。お料理教室やパソコン教室などの資格取得に向けた勉強ができるところが良いと思います。

次に文化ホール、図書館を作った時の効果ですが、まず文化ホールこちらは先ほど説明したように収容人数が多く、駅から近いため市外からの宿泊客の増加が見込めます。

市外からの宿泊客が増加すると市内経済の活性化に繋がると思います。

次に図書館です。図書館は温泉プールをすることで健康増進、カルチャースクールをすることで市民の交流や資格取得に役立つと思います。クラウド上で書籍を電子化して、図書館に行かなくなってしまいますが、行かなくても借りることができるというシステムをすることで多様化した教養の場を提供できます。

カフェやイートスペースをすることで様々なニーズへの対応もできます。

これらを合わせて市民の教養、健康増進に役立つことができると思います。

次に懸念事項と対策です。図書館については懸念事項がなかったので文化ホールについて説明します。

文化ホールは市外からの集客を見込んでいますが、日帰り客が多かった場合には経済効果が少なくなってしまいます。経済効果が少なくなることについての対策としては宿泊プランの提案です。例えばイベントを行う場合にチケットと旅館、ホテルの宿泊をセットにしたようなプランを提供し遊んでそのまま宿泊し、翌日も市内を観光することで経済効果が増えていくと思います。

次に文化ホールです。かなり収容人数が多いですが、稼働率が低かった場合に施設の管理費が掛かり赤字になってしまう可能性がありますのでイベントや行事以外での使用を提案します。

例えば、映画やパブリックビューイングです。イベントが少ない平日に行うことで稼働率がそこまで上がらなくても赤字は免れるかなと思います。映画についてさらに深掘しますと、最近絶叫上映やマサラ上映というのが流行っています。

みんなで声を出しながらペンライトを振ったり、タンバリンを叩いたりして行う上映が最近流行っているんですが、上映している映画館が少ないので、そのような試みをやってみても良いと思います。

パブリックビューイングもサッカーが盛り上がっていたので、今後いろんなスポーツについて行っていくと皆さん来ていただけると思います。

施設のネーミングは、まずは市民からの一般公募、後は有名人が命名、最後にネーミングライツです。味の素スタジアムはネーミングライツで命名されたものなので、そういったところで工事費などの費用について軽減できればと思いました。

最後にまとめです。文化ホールは市内経済の活性化をすること、図書館は市民の教養、健康増進をすることで伊東市民の豊かな暮らしの実現ができます。

以上になります。ご清聴ありがとうございました。

(市長)

ありがとうございました。

文化ホールを伊東駅周辺に建設してほしいという声はありますが、伊東駅裏というのはなかったもので、面白いと感じました。

伊東駅裏の課題としまして、建設できる土地の有無と鉄道のガードがあり大型車が入れないデメリットがあると思いましたが、今まで考えてもいなかったような立地です。参考になると考えております。

それから収容は2,000人という是相当大きいなと感じました。もちろん大きい方が良いですが、最近観光会館の席が全て埋まるイベントがなく、相当有名なアーティストが来た場合は別ですが、それが年間に何十回も呼べる状況ではないということで、どのぐらいが身の丈に合っているかということを考えてしまいますがそれがまず一つの課題です。

300人から500人と書いてありますが、ひぐらし会館が200席でございまして、これだと狭いという意見が多いですから、ある程度これが合っているなと考えました。

図書館については、カフェ、イートスペース、ジム、温泉プール、カルチャースクール等このようなものがあれば図書館の利用者が増えるというのは間違いないと思いますので参考になりました。

ネーミングライツはなるべく採用したいと考えておりましたので、有名人がつけるというのもそうですが、企業にスポンサーになっていただいて建設費の一部を出してもらえればと考えます。ちなみに千葉ロッテマリーンズのZOZOマリンスタジアムは10年間で31億円もらっているようですので相当良いなと思っております。ありがとうございました。

(若山副市長)

私も一番感じたのは駅前ではないということが今までにない発想なのかなと感心して聞いていました。

ワークシートを見ると東小学校が統廃合された場合には文化ホールの候補地となっておりますが、タウンミーティングでも小学校の跡地にという意見が出てきている中で、これから学校の統廃合は避けて通れませんし、県立高校や小中学校の統廃合が進んでいく中でいえば候補地の一つになってくるかと思いません。

東小学校のタウンミーティングでは西小という意見が出てきたのですが、東小だと市役所にも近くて良いのかなと思いついて伺っていました。ありがとうございました。

(佐野副市長)

文化ホールの部分についてイベントのチケットと宿泊チケットを合わせた、ということに非常に興味がありました。

先日、知人とそんな話を正にしていたところでして、首都圏から約1時間30分で来れてその際に話しをしていたのが歌舞伎等ですけど、公演を夕方や夜に設定すれば宿泊も伴うのではないかと、しかし既存の観光会館でもこれならお客さんと呼べるのではないかと面白い話をしていたところで終わりました。

伊東は全国有数の観光地としてこの部分は考えていかなければいけないところだと話しをしていたので興味がありました。ありがとうございました。

(教育長)

ありがとうございました。カルチャースクールは市民の交流を含めて素晴らしい考え方だと思います。またそこに託児施設をつけるということは様々な子育ての面でも素晴らしい発想であると強く思いました。

文化ホールをイベント行事以外での使用ということで映画やパブリックビューイング等ありますが、もっと様々な使い方ができるのかなと今提案を聞きながら思いました。

もし1,500人ぐらいの広いホールができるようであれば色々な可能性がある中で、若い人はものすごい発想力がありますのでホールをうまく使えるような仕組みを作っていく必要があるということを改めて感じさせて頂きました。

子育てなど現実味のある良い提案だと思いました。

(市長戦略監)

私が一番感じたことは、伊東市民の豊かな暮らしの実現という目標を持っていただいて明確に何のために作るのということから考えていただいたことは非常に感動いたしました。

その中で私も目から鱗が落ちたような感覚ですが、レストランを施設の中に作ってしまうと施設の中で完結してしまいますので、あえてレストランを作らないで街中に出ていただくというような考えが正しいのかなど、この目的を達成するのであればこのようなことも考えの一つとしてあるのではないかと思います。

1,500人から2,000人のホールということですが、映画やパブリックビューイングで1,500人集まる可能性はありますでしょうか。

(Bグループ)

難しいと思います。

(市長戦略監)

例えば、松任谷由実のコンサートなどを行えば来るかもしれませんが、毎月出来るわけではないので、そのあたりを考えながら先ほどのAグループの提案にあった可動式にしてスポーツイベントができるとか、そのようなことを視野に入れて考えていければと思いました。

(企画部長)

私が一番驚いたことは、今回文化ホール・図書館に係る提案ということで文化の中核施設として考えるということを考えていたのですが、この提案については文化だけではなく市内経済の活性化であったり、市民の健康増進まで踏み込んだ検討がされていることに非常に驚きました。

もう一点は、カルチャースクールを作る、宿泊プランを提案する、ネーミングライツも検討する。このような経済的な視点で民間活力をうまく使って行くんだという提案であると思っております、当然今後行政として具体的な施設の検討をしていく際には、民間活力をどう活かしていくのかということが検討の大きな柱になってくるのかなと思っておりますので、そういう意味で今回の提案は今後検討する際に大変参考になるのではないかと思います。

(Bグループ)

補足として収容人数ですが、現在認知度が低いアーティストが観光会館で行っているように思いますので、認知度が高いアーティストを伊東市からお願い

して、例えば他にはない音響機能がある等で差別化し、多い人数を収容できる施設にして色々なことをしてみたいと思います。

例えば伊東で EXILE のパブリックビューイングを行えば三島や沼津などの遠方からも来てもらえるのではないかと思いますので、1, 500人ぐらいがベストだと思いました。

レストランを併設するとそこで済ませてしまうかと思いますが、伊東駅周辺の企業の方などが社員食堂のように常に機能している環境を作ることができればマイナス面があまりないのではないかと考えました。

マイナス面ばかり考えるのではなくプラス面として可能性を信じて行えば経済効果が期待できるのではないかと思います。以上です。

(市長)

素晴らしい考えだと思います。一流のアーティストを呼べるような音響を作っていくなど、機能面を重要視していくかによって集客が見込めるということになるかと思います。

ありがとうございました。Cグループの皆さんお願いします。

ウ Cグループ発表

皆さんこんばんは。たまたま伊東の町中から伊豆高原まで多様な地域に住んでる方が多くて僕らが伊豆高原の地域について実際よくわからないところもあったのですが、伊豆高原の方や伊東の町中の方の意見も聞きながら市民目線により、また経済効果も考えながら意見をまとめました。

4つのカテゴリーに分けて説明させていただきます。複合施設又は単体施設、候補地について、そして期待するまた必要だと思う機能や設備、最後に伊東らしい特徴等を説明させていただきます。

まず複合施設か単体施設かということで議論させていただきました。

結論から先に言いますと、単体施設で運営したらどうかという意見にまとまりました。理由として図書館は本を読む、借りる、勉強するという静かな場所というイメージがあります。

文化ホールは舞台や講演を行い、人々が集まる華やかで賑やかな場所であるということ。伊豆高原と伊東の街中にあることによって市民の利便性や観光客などの誘致、経済効果にも繋がるのではないかと考えてこのような意見にまとまりました。

続きまして候補地ですが、図書館についてはマンダリンホテル跡地。選定理由の一つは現在の図書館に近く利用しやすい、敷地が広く駐車スペースが非常に取りやすいということです。二つ目は期待される効果として周辺施設に様々

な伊東市の施設があります。そこの一体的な運用が可能なのではないかと考えております。

懸念事項と対応策ですが、災害など津波の危険性がありますので1階を駐車場にして建物を2階にすることにより不測の事態にも対応できるのではないかと考えております。

文化ホールの予定地ですが、伊豆高原駅周辺を考えております。伊豆高原駅に三つ候補地があると思いますが、その三つのどこかというのはまとまっておりませんので今後の課題とさせていただきます。

文化ホールの伊豆高原駅周辺の選定理由としましては、伊豆高原というと美術館・博物館も多く文化芸術のイメージが強いですし、駐車場や駅からも近いということです。期待される効果としては日本を代表するような文化芸術の街ということでブランドイメージをさらに向上させられるのではないかと考えております。

懸念事項と対応策といたしましては、交通渋滞が懸念されますが利用者に公共交通機関の利用を呼びかけたり、道路の増設などで対応していければ十分対応可能ではないかなと思っております。

図書館については、お洒落な図書館が良いと思っております。

本の貸し借り、自習室など通常の図書館機能に加えAグループでもありますがカフェや足湯など癒しの場、小・中学生、高校生また子どもやお母さんが集まってくる場所だと思いますので子ども食堂、ボルダリングスペースなど子どもが集まりやすいような環境にしたらどうかと考えております。シェアオフィスなども加えたらどうかというような意見も出ました。

「CCC」はご存知でしょうか。「カルチャー・コンビニエンス・クラブ」というもので全国の自治体の図書館を運営している蔦屋書店で注目されまして、非常に好評で人気のある図書館を作られている会社でございます。

例としましては、佐賀県の武雄市。私も伊東市の人口でこのようなもの作った場合どうだろうかと思いましたが、武雄市は48,000人という人口で日本において成功した図書館ということで有名になっております。また代官山などでも非常に好評な図書館を運営しております。

ネットで「CCC」と入れますと検索できますので、ぜひ活用を検討してください。

そして伊豆高原に建設という案が出ています文化ホールは、伊豆高原という自然豊かな地域を活かしてナチュラル系の建物を建てたらどうかと思います。文化ホールにはコンサートや公演ができる1,000人収容のホールの建設を考えております。

資料の写真は山梨県の女神の森セントラルガーデンで自然を活かしたナチュラルな建物となっております。ご参考にしていただくとありがたいです。

こちらに関しましてもカフェ、温泉、コンベンションホール、トレーニングジム、保育園やシェアオフィスなど皆が集まれるようなものにしてみたらどうかという意見が出ました。

最後に伊東らしい特徴の機能や設備についてです。例えば、温泉を取り入れたり自然環境を生活かすということで、ナチュラルなイメージがありますので、バーベキューやキャンプができたり観光客や地元の人が自然と触れ合う施設を作っていくのも一つの案ではないかと思っております。ご清聴ありがとうございました。

(市長)

ありがとうございました。本当に素晴らしい提案でした。

最初に結論がありまして、単体施設であるべきということから入ったところも確かにその通りだという一面があると思いました。

それからいろんな例を出していただき、「CCC」、蔦谷グループですが、成功事例として私も武雄市についてよく知っておりますし、最近視察に行ったところでは東急東横線の駅に東急プラザがありまして、そこに図書館も入っております。1階はショッピングとして東急ストアが入っていますけど、2、3階は市役所の出先機関が入ったり民間のお店が入っていますので買い物もできたり、本を読めたり、カフェもあるということで最近の流れとしてこのようになってきています。

伊東市だけで資金を都合するようなイメージがあったと思いますが、このようなプレゼンをいただきまして、やはりの民間の資金を活用していくということと伊豆高原駅周辺も伊東市の持っている土地ではございませんが、このような提案を持ちかけて行くと手を上げてくるのではないかと希望が持てるような提案であると思いました。

図書館はマンダリンホテル跡地ということでございますが、津波等の対策なども考えていただいておりますので、より具体的な提案ではないかと思いました。

グループA・B・Cに共通して温泉を活かすことや伊東らしさというものを十分に配慮していただいていると思っておりますので、共通のテーマになってきたといことは確かではないかと思えます。

伊豆高原を売りにしていくという提案をいただき、非常に特徴がある提案であると感じました。ありがとうございました。

(若山副市長)

ありがとうございました。私も伊豆高原が選ばれたというところで良いなと感じました。

文化のイメージが強い地域ですし、それから特徴づけされたナチュラル系というところでも自然豊かな中で文化施設ができていくという伊豆高原のイメージにぴったりなものができるのではないかと感じました。

それから図書館はお洒落系だというのもなかなか面白い発想ですが、特にボルダリングスペースやシェアオフィスを期待しているというか、設置できれば面白い施設なのかなと感じております。そこに子ども食堂も入っているというのが面白いなと思って聞いておりました。

場所を選定する中で伊豆高原地域に施設を持っていくというのは、結構大変だと思いますがこのように提言していただくことは本当にありがたいなと思いました。以上です。

(佐野副市長)

私の感想としては全体的にすっきりとして合理性があると感じました。

市長も仰っておりますが、やはり伊豆高原のブランドやイメージをしっかり活かすような提案ということと、伊東市の地域バランスも考慮しており非常に合理的なイメージを持ちました。

あえて質問させていただきたいのですが、文化ホールについてコンベンションホールという記載があるんですが、1,000人規模のホールとは別に設置することで検討されているのか先ほどの可動式での提案なのか、教えていただければと思います。

(Cグループ)

こちらは結論から申しますと、別のもので良いと考えております。

コンサートはコンサートで行っていただき、企業や文化的なイベントで使うようシチュエーションもあるかと思っておりますので、別でも良いのかなと考えております。

(教育長)

改めてこの伊豆高原という地域は文化芸術のイメージをみんなが強く持っているということを確認しました。

やはり伊東の良さ、伊豆高原の良さはみんなが認めているのだなということを若い方の意見も聞きながら、改めて認識させていただきました。

その中でナチュラル系やお洒落系ということを取り入れていくことは大切な事であると強く感じました。

伊東には伊豆高原を中心に文化や芸術の素晴らしい地区がたくさんあるということも多く、多くの県民を含めて全国に知れ渡るような建物を建設していくことが大切であると感じさせていただきました。ありがとうございます。

(市長戦略監)

私から図書館について一点だけ感想を述べたいと思います。

子ども食堂を入れるという発想は非常に面白いといえますか、ぜひ入れたら良いなと思いました。

やはり暖かい図書館というのは暖房が効いているから暖かいとかではなくて、人に優しいことが暖かい図書館であると考えます。

鎌倉の方で2学期に学校行きたくないなら図書館においでという発信した司書さんがいたと思いますが、そういう温かみのある図書館にぜひしたいと思いました。この発想はどういう経過から出てきたか教えていただけるとありがたいです。

(Cグループ)

食堂があれば一日中勉強ができるということもありますし、施設内に農園を作って収穫体験をしたり、その野菜を使って子ども食堂を運営すれば食育にも繋がると考えました。

(市長戦略監)

ありがとうございました。

(企画部長)

私も市長と同じように、最初の段階で単体施設であるという主張はとても素晴らしいと思いました。

図書館は静かな場所、文化ホールは賑やかな場所、単純ではございますが非常に原則的・的を得ている対比であると感じました。

これらの施設については今後様々な議論を重ね、多数の意見が出る中で複合施設が良い、単体施設が良いという意見も出るかと思いますが、今回の提案につきましては今後の議論の大きな基礎になるのではないかと考えております。

提案の基本的な考え方として、それぞれの適地については周辺環境とどうあるべきかを考えており非常に現実的な提案であると感じております。

また文化ホールの懸念事項として、交通渋滞が考えられ、利用者に公共交通機関の利用を呼びかけるということですが、例えば伊豆高原駅改札直結にして伊豆急さんにご協力いただき、例えば市の事業等の際には割引切符を発行するとか、伊豆急さんでコンサート等を企画し文化的な企業イメージを高めるということも考えられるかなと思いました。

ありがとうございました。

(市長)

ありがとうございました。

ここで担当でございます教育部長から全ての提案を伺った中で、意見を総括していただきたいと思います。

(教育部長)

皆さんありがとうございます。お疲れ様でした。素晴らしい提案をしていただきまして、非常に感動しております。

そういう中で、今少し頭を抱えている部分と、なるほどという部分と二つに分かれているのが正直な感想です。

頭を抱えている部分というのは、この中で候補地を選んでいただいただけでも伊東駅、市の中心地、伊豆高原と三つにすでに分かれています。

この先、今年度の検討会の中でこの辺りを中心に検討していこうと考えているところですが、皆さんの中でもこんなに意見が割れている中でまとめていくのが大変なのかなと痛切に感じております。

納得している部分として3チームとも共通して望んでいるところが図書館、文化ホールともに他との差別化ですね。

Aグループにしましては伊豆半島各地から集まってくる魅力のあるもの、Bグループは伊東初という施設ということ、Cグループは伊東らしさという特徴ということで、他との差別化を図った施設にしてほしいと感じているところでございます。

その中では温水プール、足湯、ジムが共通した意見でございましたが、ジムとして大原武道場を生涯学習課が管轄しています。年間で現在25,000人ぐらいの利用があります。今後まだまだ伸びていく要素を持っており、併設することによって多くのにぎわいが作れるのかなと考えておりますので皆様と共通の認識でいるところでございます。

伊東らしさということで温泉ですね。貴重な資料を扱っておりますので、水を使ったプールや足湯がどれくらい対応できるのか担当として心配しているところでもございます。

リラックスをしながら、例えばアロマなど非常にいろんな面で学習効果を上げるということを皆さんが考えてくれていることは非常に参考になりました。

最後に未来ビジョン会議の皆さんがこの施設が完成した際には利用される中心になる方々です。また皆さんのお子さんが図書館で学習するために利用する中心となっていくと思います。我々はBグループにございました健康寿命を伸ばすところで、少し利用させてもらえるくらいかなと考えております。

今後、施設を作っていく中で、今回のご意見は検討の中心の考え方として捉えらせていただき施設建設に向けて進んでいきたいと思っております。ありがとうございました。

(市長)

ありがとうございます。

グループCの皆さんにも貴重なご意見を頂きましたありがとうございます。

少し時間がありますので、それぞれのグループの皆さんに他のグループの提案に対してご意見を頂きたいと思っております。

Aグループお願いします。

エ Aグループ質疑

【Bグループについて】

- ・ 伊東駅裏で2,000人規模のホール建設は可能でしょうか。
⇒ 2,000人の規模ですと5,000平米くらいの面積が必要になります。オオクラボール、はばたきの裏、JRの社宅辺りの土地を全て使えば可能だと考えます。また高い建物を作ることで、できるだけ多い人数を収容できれば良いと考えました。

【Cグループについて】

- ・ 伊豆高原駅周辺という候補地の発想がなく、提案を聞く中で伊豆高原は文化施設がたくさんあることに気づき、とても良い候補地を選定したと感じました。

ウ Bグループ質疑

【Cグループについて】

- ・ 現状の観光会館が1,000名収容ですので、同じ収容人数に設定したのは何か意図がありますか。我々が先ほど発表した通り1,500人から2,000人に設定したのは大きな公演を行いたいという意図がありましたので、何か考えがおありでしょうか。

⇒ 規模については検討委員会が決めていくかと思いますが、我々としては小さくしないでほしいという意図があります。小さくしてしまえばBグループの発表でもあったようにアーティスト呼んでにぎやかに繋がる部分が可能性として消えてしまうので、とりあえず現状の1,000人という数字を維持してほしいという思いで決めているだけであって、実はBグループと同じ思いであるということをご了承いただければと思います。

【A・Cグループについて】

- ・ AとCグループに共通していたことが、コンベンションホール機能でしたが、例えば可動式の屋内施設にした際に既存の市民体育センターなどの機能が落ちていくと考えられるのでホールと体育施設は別にした方が良いのではないかと思いました。

既存の市内の体育施設に対して考えとかはありますか。

(Aグループ)

⇒ 全くないです。

Aグループは収容人数を記載してありませんでしたが、700人を想定しておりました。これは今後、日本の人口は劇的に減っていきますので、今の集客ができているミュージシャン等が果たして集客を維持できるかどうかというのは現実的な問題として私たちは考えました。

やはり民間企業の力を借りないと、子どもたちがどうやって借金を返していくかを考えたときに様々な企業の資金を投入し稼働させて、ホール自体がお金を生み出すことで借金を返していくような考え方で建設してみたらどうだろうという発想から考えました。

(Cグループ)

⇒ 考えているときには可動式のホールということは頭にありませんでしたが、皆さんの意見を聞いていて可動式が良いなと思ったところも確かです。

コンベンションホールを建設する、しないということが課題になってくるとは思いますが、例えば今から新しく建設するコンベンションホールの目的とか使用用途というものは今ある施設と明確に分ける必要があると思っておりますので今後検討が必要であると思います。

(市長)

ありがとうございました。これで予定の時刻になりました。またご意見を交わす機会を作りたいと思いますので、その際にお願ひします。

皆様から貴重なご提案を頂戴することができまして大変参考になりました。
繰り返しになりますが、今回発表していただいた提案を今後文化ホール・図書館建設の参考とさせていただきたいと思っております。

続きまして次回について杉本市長戦略監からご説明いたします。

(5) 次回について

(市長戦略監)

次回、8月21日を予定しております未来ビジョン会議について説明をしたいと思います。

昨年度から開催しておりますが、今回は初めての試みとして皆さんに街中に出ていただいて観光施設やにぎわいの演出等を実際にご覧いただき、意見を伺いたいと思っております。

8月6日から東海館のライトアップを始めますので、そういうものを含め今後どうすれば伊東の街はにぎわうのか等の忌憚のない意見をお願いします。

見ていただきたい場所や視点につきましては後日ご説明いたします。

今年度からHIKARI to YUKATA演出事業として浴衣に関する事業を推進しています。浴衣の日ということでチラシも入っておりますが、浴衣で旅を楽しむことを表現するということが既に東海館にてそのようなスペースも開設しております。観光客だけでなく市民の皆様にもご利用をいただきたいと考えております。

そこで提案ですが、次回街並みを見学するにあたりまして皆様にもぜひ浴衣を着て街中を歩いていただきたいと思っております。浴衣につきましては、ご自身の浴衣がある方は着ていただき、ない方は「ゆかたび」にて着替えていただいて街中を散策していただくことも考えておりますので、奮ってご参加をお願いします。詳細については事務局から連絡いたします。

もう一つ提案がございます。街中のにぎわい演出を見ていただいた後に、せっかくですので浴衣を着たまま懇親も兼ねた意見交換を行いたいと思っております。それについて皆様の中で絶対に賛成しないという人はいないかとは思いますが、この懇親会で意見を交換する中で新しいメンバーの方もいらっしゃいますので、様々な業種の方とぜひ親睦を深められると考えておりますし、冒頭市長が申し上げたとおり、皆様の意見が政策アイディアの宝箱ですので、ぜひ意見を伺いたいという提案です。

(市長)

今回は直接現場にて見学体験をしていただきまして、その流れで懇親会を行ったかどうかということでございます。

浴衣をどうしても着てほしいとは申しませんが、私はこの事業を行うにあたり、様々なところから観光地がV字回復したとか言われますが、では一体自分たちは何ができるのかというところの提案はないです。

やはり一人一人ができること、例えば浴衣を着て街を歩くだけでにぎやかに見えるのであればやってみようというのが今年の事業の元になっておりますので、ぜひご理解いただきたいと思います。

これから親睦を深めるためにはやはり懇親会を行った方が良いのではないかと思いますので、これを私からの提案に置き換えまして賛否を取りたいと思います。異義のある方は手を上げていただけますでしょうか。

(異議なし)

ではやってみようではありませんか。

8月21日は市役所から離れ、出来ましたら浴衣を着ていただきたいと思います。浴衣がないという方は事務局に相談していただければと思います。

次回は街に出るということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

(6) 閉会

ありがとうございます。それでは次回は見学と懇親会を開催させていただきたいと思います。詳細につきましては改めて事務局から連絡をいたします。本日はお疲れ様でした。

以 上